

薬物依存からの回復を支え、薬物乱用防止を啓発

活動内容

『ダルク』(DARC)とは、民間の薬物依存症リハビリ施設のこと。同団体は全国各地にある『ダルク』の中でも2番目に古く、1989年に開設。以来、年中無休で薬物依存からの回復支援を行っている。活動は、グループセラピーをはじめとする薬物依存克服プログラムを実践するデイケアとナイトケアが中心。刑務所での薬物離脱教育にも携わる。また、市内の学校で講演を行うなど、薬物乱用防止にも力を入れている。

活動の背景、活動への思い

『ダルク』は、薬物依存の泥沼から克服した人たちで運営している。それだけに、薬物で苦しんでいる人や家族に、「回復できる病気である」という希望のメッセージを発信する場という役割ももつ。特に近年は、向精神薬、睡眠薬、鎮痛剤などによる依存症が増加。主婦層にも広がっていることから、薬物依存についての正しい知識をもち、理解を深めてほしいとしている。そして、依存症の克服を支え、社会復帰を許容する豊かな社会を目指している。

募集中!

薬物依存症は、治療やリハビリによって回復が可能な「病気」。薬物依存に関する悩みを抱えている人は、性別や年齢に関わらず同団体まで相談を。本人ばかりでなく、家族からの相談も受け付けている。相談やカウンセリングはすべて無料。ダルクの活動はすべて寄付で賄われているため、募金への協力も呼び掛けている。



概要

法人認証年月日 / 2008年2月22日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / 人権擁護・平和推進

→ 連絡先

〒462-0834 名古屋市北区長田町4-67-1

TEL 052-915-7284 11:30 ~ 13:30・15:00 ~ 17:00
不在の際は留守番電話にご用件を

FAX 052-915-7284

E-mail -

URL http://jcca.client.jp/nagoya_d.htm

聴覚障害者を支え、「聞こえ」のバリアフリーを求めて

●活動内容

難聴者・中途失聴者など、手話の使えない聴覚障害者の支援活動を行う。月1回開かれる例会では、聴覚障害に関する最新情報を提供したり、意見交換や親睦が図れるよう、補聴器の雑音をカットする磁気誘導ループや、プロジェクターを使った要約筆記などを活用して「聞こえ」をサポートしている。また、仲間づくりの場として各種サークル活動も盛ん。映画やプラネタリウムに字幕をつける活動や、『耳マーク』の普及運動などにも取り組む。

●活動の背景、活動への思い

人生の途中で聴覚を失うと、意思疎通が困難になり大きな孤独感を抱える。そうした人々の心をケアし、仲間づくりの場を提供したいという思いと、難聴・中途失聴者への社会的理解を促すという使命感から活動を行う。ろうあ者と異なり、言葉が話せる人が多く誤解を受けやすいことから、聴覚障害者であることを伝える『耳マーク』を企画。公共機関などに「聞こえの保障」を求め、健聴者と等しく情報が得られる社会環境を目指す。

募集中!

ボランティアを募集中。例会やサークルなどに参加して交友を結び、難聴者・中途失聴者への理解を深め、サポートしてほしいとのこと。ボランティア経験のない人も歓迎している。また、行政、企業、店舗などに対しては、聴覚障害者の対応・接客マニュアルを一緒に開発したいとのこと。詳しくはメールで問い合わせを。



概要

- 法人認証年月日 / 2005年5月30日
- 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
- 従たる活動分野 / まちづくり、情報化社会

→連絡先

〒462-0837 名古屋市北区大杉1-9-16

TEL 052-932-6080 お問い合わせはFAXまたはメールで
 FAX 052-939-2777
 E-mail meina_takagi@office.nifty.jp
 URL <http://www.normanet.ne.jp/~meina/>

中国語の医療翻訳・通訳者を養成、日中の医療交流図る

活動内容

中国語の医療翻訳・通訳者を養成する講習会開講について、市民と中国からの留学生を対象に、説明会を開催している。同団体は2011年に設立したばかり。そのため現在は、活動内容についての協議や、パンフレット作成およびホームページ開設に向けて準備をしているところである。また、日本の医療機関との連携についても、調査・検討中。今後は、健康促進のための健康講座や医療に関する研修会、日中医療交流事業なども行っていく予定。

活動の背景、活動への思い

近年は医療ツーリズム(医療サービスを受けるために海外の国を訪れること)が活発になってきているが、日本の医療機関においては、言葉の壁により医療の国際化への取り組みは十分に行われていないという現状がある。そんな中、同団体理事長が、来日後間もないため医学用語の日本語がわからず、困っていた外国人の友人を手伝ったことや、これまでの調査から、専門的な医療翻訳・通訳士を養成する必要性を感じ、この活動を始めた。

募集中!

医療翻訳・通訳者を養成する講習会の受講者を募集している。また、中国の医師免許を持つ理事長のほか医師スタッフによる「漢方医学講座」や中国伝来の「薬膳料理講座」、専門家による「太極拳講座」などを企画。興味・関心のある人は問い合わせを。



概要

法人認証年月日 / 2011年4月22日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / 国際協力

→ 連絡先

〒460-0007 名古屋市中区新栄2-1-9
雲竜フレックスビル西館803

TEL 052-740-1049 平日 10:00 ~ 18:00

FAX 052-740-1049

E-mail akira200011@hotmail.com

URL -

移植への正しい理解を広げ、移植医療の普及を目指す

活動内容

生体腎移植ドナー間の情報交換の場として「ドナーの広場」を毎月開催。ドナー経験者・ドナー予定者に参加を呼びかけ、予定者の抱える移植に関する不安や疑問に対し、経験者が答える相談の場ともなっている。また一般市民を対象とした移植の普及啓発活動として、移植を受けた子どもたちの作品展『Gift of Life』を年に2回開催。その他、教育機関などからの依頼を受け、移植を受けた患者やドナー経験者を講師として派遣している。

活動の背景、活動への思い

移植外科医である代表が職務の中で、テレビドラマなどの影響から、移植に対し悪い印象や間違った情報が広まっていると感じた。そこで、「正しい知識の普及によって患者たちを救いたい」との思いで患者やドナーなど移植当事者を中心に呼びかけ、同様の思いをもつ人々と団体を設立。より多くの人々が移植に対し正しく理解できるよう、一般市民だけでなく実際に患者やドナーに説明を行う医者を中心に、医療従事者に対する理解の普及も目指している。

メッセージ

「まずは団体の活動を知ってもらい、移植医療について考えてもらいたい」と呼びかけている。移植に関して疑問点がある人は問い合わせを。また、同団体は生体腎移植ドナーの体験手記やQ&A形式の腎移植に関する書籍の販売、手術前の生体腎移植ドナー向けの冊子の無料配布を行っているので、興味のある人は連絡を。



概要

法人認証年月日 / 2007年11月26日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / 社会教育、学術・文化・芸術・スポーツ

→ 連絡先

〒460-0008 名古屋市中区栄3-23-12
 ハイライク栄ハイツ1002

TEL 052-252-7601 常時

FAX 052-875-4418

E-mail info@mirai-project.org

URL http://www.mirai-project.org/

救急法の知識・技術を普及し、大切な命を守る

活動内容

一般市民を対象に救急心肺蘇生法、水難救助法、雪上救急法、一般救急法、ジュニア救急法などの普及啓発活動を日本全国で実施。学校や企業のほか、各自治体の施設などで広く一般市民を集め、内容や知識・技術の段階に応じてさまざまな講習会を開催している。また各種資格の認定もしており、講習会では『指導員コース』の認定を受けた指導員が指導を行う。資格は公的資格ではなく協会が独自で認定しているものだが、認知度は高まってきている。

活動の背景、活動への思い

「万一の事故・病気に備え、応急手当について知っておかなければならない」との思いからボランティアで応急手当の普及活動に携わっていた創設者が、より十分な活動をしていくために団体を設立。現在、年間3,500名ほどが講習会に参加している。今後はすべての学校での講習会の実施や、より多くの企業への働きかけに努めていきたいとのこと。「救急蘇生・応急手当を行う上では『助けてあげたい』という気持ちが一番大切」と理事長は語る。

募集中!

団体の運営を担うボランティアを募集中。活動内容は、会計や講習会の準備、資料作りなど。また「救急蘇生法や応急手当に関する講習に一度参加し、体験してみたいほしい」と呼びかけている。団体が開催している講習会のほか、同様の取り組みは消防や日本赤十字社でも行っているため、「どこかでまずご参加を」とのこと。



概要

法人認証年月日 / 1999年10月7日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / 社会教育、子どもの健全育成

→ 連絡先

〒462-0041 名古屋市北区浪打町2-92
 アクアスペース北

TEL 052-981-6574 月～土 10:00～17:00

FAX 052-912-0993

E-mail yamada@jlsa.jp

URL <http://www.jlsa.jp/>

自らの自然回復力を引き出し、元気を取り戻す

活動内容

保育者、教育者、一般市民を対象に、深層心理を活用し、心身共にリラックスした状態の時に向上心や自然回復力が発揮されることを伝えるための講座・教室を企画。例えば、笑いの効用や身体操法などを伝える『いきいき心理セミナー』、心身の健康や円滑で豊かな対人関係をつくる『こころとからだのリラックス教室』などを開催。深層心理技法だけでなく、膝や腰の痛みの解消など、心身共に健康的に過ごすための技術や知識を紹介する。

活動の背景、活動への思い

学校が荒れていた時代に、教育関係者たちが生徒の学校生活への適応力や学力の向上を目指して、深層心理の活用法の研究を始めたことが活動のきっかけ。深層心理には、向上心や自然治癒力、感情を安定させるという働きがある。ありのままを受け入れ、自主性を尊重するという考え方「ピグマリオン・マインド(信頼する心)」や深層心理の力を、教育の場だけではなく、悩みやストレスで病む職場や家庭でも活用し、実践できるように支援する。

募集中!

講座や教室への参加者を募集している。『いきいき心理セミナー』を年3回、『こころとからだのリラックス教室』を月4回、『子育てよもやま講座』を月1回、それぞれ開催している。また深層心理士や深層心理カウンセラー、健康指導員などの養成・資格認定も行っているので興味のある人は連絡を。



概要

法人認証年月日 / 2003年2月24日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / 社会教育、子どもの健全育成

→ 連絡先

〒461-0018 名古屋市東区主税町2-38
 主税町シティハウス803

TEL 052-961-9510 火・水・土 10:00～20:00

FAX 052-961-9510

E-mail npojdp@aol.com

URL <http://www.npojdp.org/>

精神疾患に効果的な治療法の知識・技術を普及する

活動内容

うつ病など精神疾患の治療法である、認知行動療法を学ぶセミナーを開催。一人ひとりが内容をしっかり確認できるよう少人数制で開催している。同団体が開催する大学レベルの心理学セミナーを事前に受講することで、医療従事者以外も参加可能。また、実践経験がなく開業にあたって資金や運営の面で不安を抱えるカウンセラー資格保持者に、カウンセリングルームのシェアと、実践の場を提供。その際のホームページ運営など広報も団体が担当している。

活動の背景、活動への思い

2010年に認知行動療法が診療報酬化され、患者は治療を受けやすくなった一方で、認知行動療法を学んだ医療従事者が少なく、治療を十分に提供することができなかった。そこで、認知行動療法が学べる場をつくり、「多くの患者に医療を提供したい」との思いで団体を設立。精神疾患の治療に携わる医療従事者たちが効果的な治療法を学び、知識と技術をもって患者の治療にあたることができるよう活動を続けている。

メッセージ

「心の悩みをもつ人は、無理をせず早めに治療を受け、よりよい生活を送ってほしい」と呼びかけている。認知行動療法など診療報酬化されているものは、有効性があるとのこと。認知行動療法を受けてみたいという人は、電話で問い合わせを。同団体が勧める、認知行動療法を実施している施設を紹介している。



概要

法人認証年月日 / 2010年5月14日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / 学術・文化・芸術・スポーツ、
 職業能力・雇用機会

→ 連絡先

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-4
 EXE丸の内ビル2F

TEL 052-231-1977 10:00 ~ 18:00

FAX -

E-mail postmaster@jacbc.org

URL http://jacbc.org/

障害者が社会の一員として幸せに暮らせるように

活動内容

知的障害者を対象にした福祉サービス事業を行う。通所デイサービスセンター『なんくるcafe』では将来の自立生活に備えて、食事・入浴・仲間との交流で経験や体験を積み、さまざまな生活課題に対応できる力を養う。休日は、料理や季節を楽しむバス旅行などのレクリエーション活動も。その他ショートステイ『なんくるstay』、買い物や通勤・帰宅などをサポートする外出支援サービス『なんくるskip』でトータルでの生活支援を行っている。

活動の背景、活動への思い

介護施設の職員だった代表が、知的障害者の施設が少ないなど取り巻く状況に問題を感じ、「障害者が将来、地域社会の一員として自立し、幸せに暮らしていけるようサポートしたい」と事業を立ち上げた。利用者への支援を「しごと・すまい・あそび」の3つの観点から捉え、長期的で継続したサービスを提供できるよう取り組んでいる。「知的障害者の生活や必要な支援についてきちんと伝え、みんなが尊重し合える社会を目指したい」と代表。

募集中!

デイサービスセンター『なんくるcafe』の利用者に、絵画やものづくり、音楽といった創作活動や、ヨガ、体操、ダンス、畑仕事を教えてくれるボランティアを募集中。利用者と一緒に楽しく交流してくれる人を歓迎している。協力したいという人はぜひ連絡を。



概要

法人認証年月日 / 2007年6月22日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / 社会教育、職業能力・雇用機会

→ 連絡先

〒458-0011 名古屋市緑区相川1-143

TEL 052-899-3140

平日 14:00 ~ 22:00 火除く

FAX 052-899-3145

E-mail nin@live.jp

URL <http://blog.canpan.info/nponin7096/>

名古屋市中区

脳外傷友の会みずほ

構成人員

職員7人
ボランティア15人
会員312

高次脳機能障害者と家族のよりよい生活を支援

●活動内容

交通事故や転倒・転落事故などによる脳の損傷(脳外傷)によって、記憶障害や注意障害などさまざまな症状が生じる高次脳機能障害を抱える人々の作業所『ワークハウスみかんやま』を運営。対人関係がうまくいかないなど、他の障害にあまり見られない特性をよく理解した上で支援をしている。また、高次脳機能障害への知識を広く一般に普及するため『脳外傷リハビリテーション講習会』や、患者の家族の声を伝える講習会なども開催している。

●活動の背景、活動への思い

高次脳機能障害は外見からはわかりづらいうえ、以前と性格が変わってしまうこともあるため、周囲の理解を得ることが難しい。そこで障害者本人やその家族が互いに励まし合い、情報交換をする機会と場をつくるため、全国初の脳外傷患者の家族会として設立。高次脳機能障害を負ったことを障害者本人と家族が受け入れ、その上で地域社会の一員としてよりよい生活ができることを目指し、手を取り合って活動している。

募 集 中 !

習字や絵の講師としてのボランティアや、賛助会員など、さまざまな形で活動を応援してくれる人を募集中。また、作業所利用者が外出する際に、見守りをしながら一緒に歩いてくれる人も募集している。障害者の人々と直接ふれあうことで、高次脳機能障害に対する理解を深めることができるとのこと。年齢は問わない。



概要

- 法人認証年月日 / 2006年3月10日
- 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
- 従たる活動分野 / 子どもの健全育成、職業能力・雇用機会

→連絡先

〒460-0021 名古屋市中区平和2-3-10 仙田ビル2F

TEL 052-253-6422 平日 9:00~17:00

FAX 052-253-6422

E-mail npo-mizuho@miracle.ocn.ne.jp

URL <http://www.15.ocn.ne.jp/~n-mizuho/>

児童デイから自立支援まで、人生に寄り添うサポート

活動内容

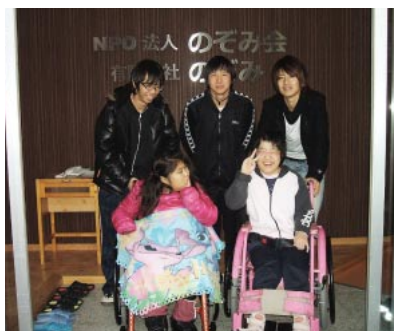
障害者自立支援法に基づいた、4つの障害者支援事業を行っている。1.就労支援移行として、企業とも連携して職業能力訓練を行い、利用者の一般就労を目指す。2.働く場を提供するため、給食サービス事業を展開。助け合いながら働く環境をつくっている。3.自主製品の制作・販売を行い、就労が困難な障害者の自立を支える。4.日中一時支援サービスを実施。その他、重複障害児(重症心身障害児)を対象とした児童デイサービスを運営。

活動の背景、活動への思い

小学生から高校生までの障害児福祉サービスを提供する『有限会社のぞみ』の利用者家族から、「高校卒業後の受け入れ先が不足している現状を鑑み、ぜひとも施設をつくってほしい」という要請を受け、設立。障害の程度に関わらず自立した生活が営める環境づくりに一心に取り組んでいる。本格始動したばかりだが、ゆくゆくは住まいを提供するグループホーム事業にも携わり、地域の障害者の生活全般を支えられる体制を築きたいとしている。

募 集 中 !

利用者を募集中。募集しているのは、次の4施設。
1.一般就労に向けた職業訓練施設(中村区)。
2.弁当製造を手掛ける施設(一宮市)。
3.自主製品を制作する施設(中村区)。
4.日中一時支援サービス(中村区)。いずれも、身体障害者、知的障害者を中心に支援している。



概要

法人認証年月日 / 2010年3月9日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / 職業能力・雇用機会

→ 連絡先

〒453-0842 名古屋市中村区剣町145

TEL 052-413-3339 平日 9:00 ~ 17:00

FAX 052-413-7007

E-mail nozomi1752003@yahoo.co.jp

URL -